
改方学園卒業式

沖稲架基真

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

改方学園卒業式

【Nコード】

N7610A

【作者名】

沖稲架基真

【あらすじ】

改方学園の卒業式が終わった後の、平次と和葉の話です。

平次&和葉サイド（前書き）

平次がこの日の朝、和葉に「話があるから、卒業式終わったら残っておけ」みたいなことを告げます。

平次&和葉サイド

「平次！」

「おう！どないしてん。和葉。」

「あんな？あの…っ」

「何やねん…。」

「卒業おめでとう。」

「なんでやねん…」

「せやかて、平次、留年するかもわからん位欠席数多かったんやもんっ」

「そないな言いなや…。もう、卒業したやないか…。」

「卒業かあ…。」

「卒業したいんやけど。」

「……は？」

「オレとお前の幼馴染という名前から。」

「…えっ？」

「オレと、付き合って欲しいねん…っ。」

「………っ／＼ホンマに…？」

「今まで一緒におったんに、大学入ったら、バラバラになるやろ？」

「え？」

「ガキン頃から、お前の事、好きやった…。」

「ガキン頃って？」

「…、小3の時や。」

「……、それって…っ。」

「そうや。」

「大事にしてくれる？」

「当たり前やろ？」

学校の帰り道、後輩と同年と先輩に二人が手を繋いで帰った
のを見逃した人は一人もいなかったらしい…

平次&和葉サイド（後書き）

このあとは、平次と和葉が大学生になったその後を書こうかなあと
思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7610a/>

改方学園卒業式

2010年10月12日00時55分発行